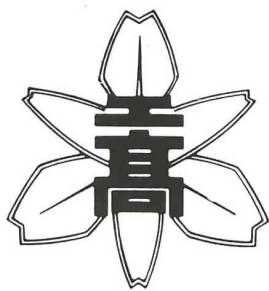
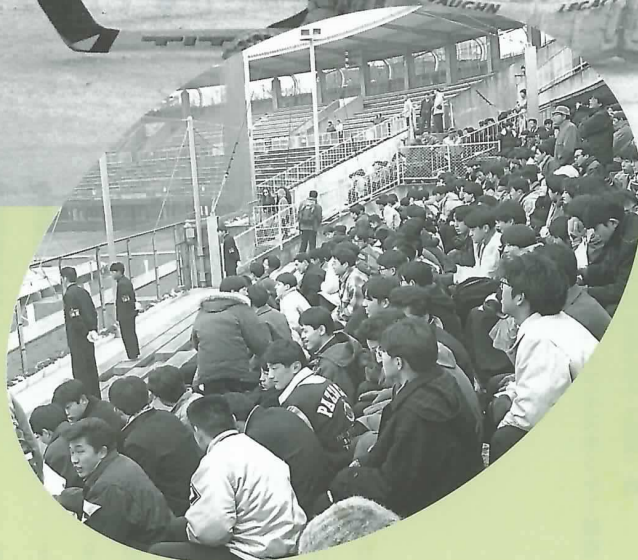
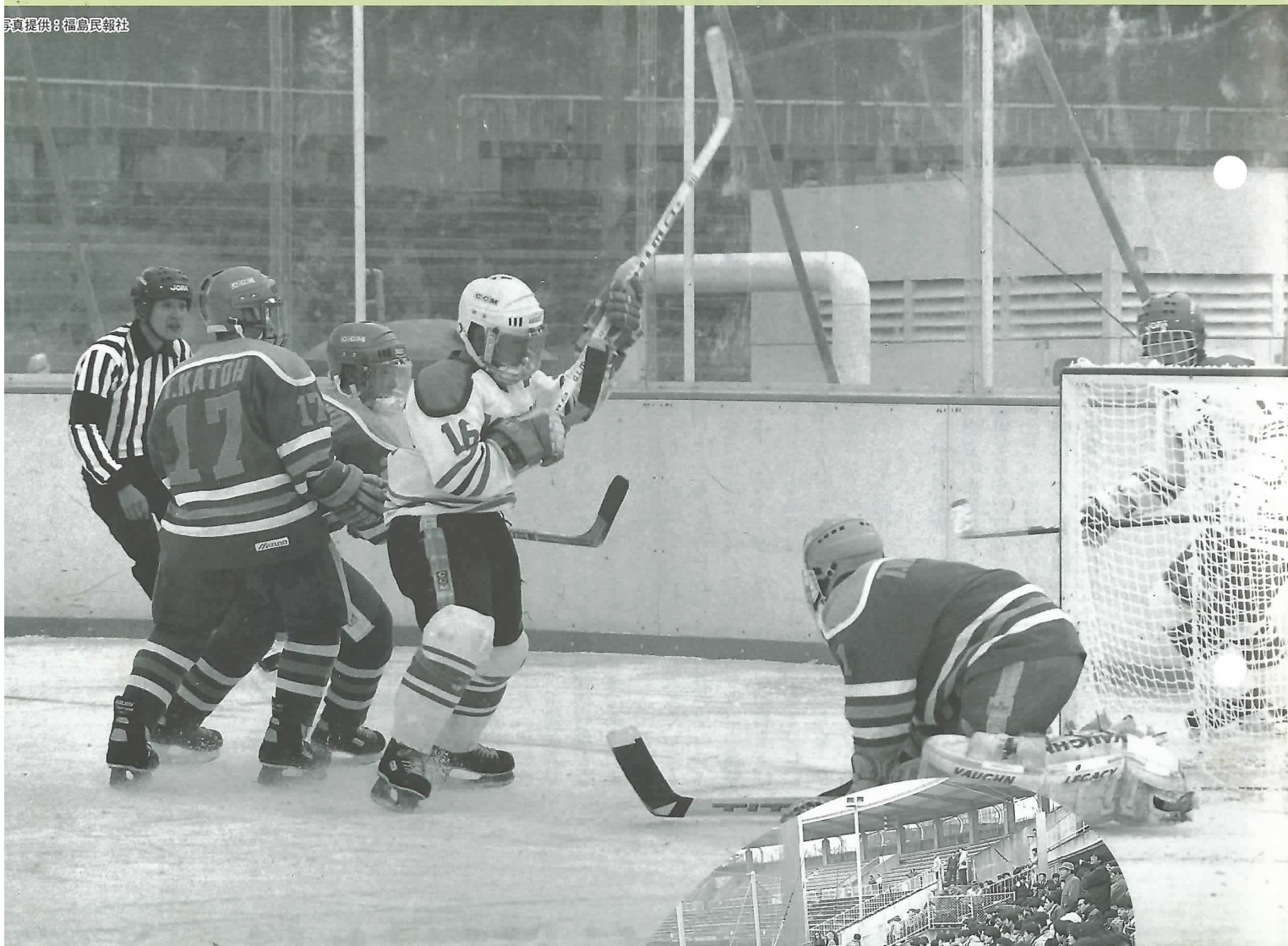


同窓 会報



福島県立郡山北工業高等学校 平成6年2月28日 第44号 発行所/〒963 福島県郡山市富久山町八山田大林1 福島県立郡山北工業高等学校同窓
☎0249-32-1199 発行者/先崎一郎 編集者/佐々木和雄 発行部数/12,000部 印刷/榊陽成社

写真提供: 福島民報社





会長あいさつ

『人多くして人無し』

同窓会会長 先崎 一郎

当社のビッグニュース'93の中に私は、『新入社員の当り年』を選出した。まだ入社後10ヶ月だが、途中退社の歩止まりもいしとにかくクズが皆無なのである。さらに男子社員は、大卒、高卒、理工系、文系を問わず一年間は工事現場を経験させるのが当社の慣習なのだが、そんな中で文系の社員が理工系に全く遜色なく評価されている事実を見て、これまでの採用の常識を一度破算に見直してみようと思っっている。それにしても、『豊作』の要因は何にあるのだろうか？ 不況の年に入社した社員は良く育つ。そんなジンクスが結局、当たっているのではないかと私は思っている。不況になると需給バランスからして、入口のところまで絞り込まれるということもあるだろうが、それ以上に育てる側も育てられる側も、厳しい環境の中で真剣に向かい合い、仕事に取り組む姿勢と心構えが、良い影響を及ぼしているのではないだろうか。

いま日本経済は、戦後最悪と言われる構造不況の中で、多くの企業が生き残りを賭

けて必死にリストラクチャリングを進めているが、ついにこれまで聖域であった「人の合理化」も避けて通れないことが、労使双方で認識されつつある。そして合理化の対象となるのは、アマチュアやセミプロ達である。それでは日本も本当に人余り時代に入ったのだろうか？ 私はそう思わない。『人多くして人無し』とよく言われるが、その道のプロフェッショナルはこれからも引つ張りダコの需要が続くだろう。要らなくなったり給料を下げられたりするのには、アマチュアやセミプロに属する人たちである。こうした人たちを、ひと絡げにして雇用しても経営が成り立った戦後の「良き時代」は終わったのである。

この大不況時、社会人としてスタートする同窓会の後輩諸君よ、どうかどんな時代にも通用するその道のプロを目指して欲しい。プロにとってはワクワクするほど面白い魅力的な時代に力一杯活躍してくれることを期待して卒業のお祝いに代えたい。

CONTENTS

表紙説明

- 同窓会会長あいさつ……………2
- 同窓会定期総会
トレーニングセンター落成祝賀会を開催……………3
- 第3回企業内支部連絡協議会……………4
- 卒業によせて……………5
- 日立支部総会……………6
- 仙台支部設立に動く……………6
- 東京支部総会……………6
- 同窓会の新しい方向性について……………7
- 生徒会だより……………8
- 定時制……………8
- 部活動の活躍……………9
- 進路指導……………10
- 平成4年度決算報告等……………10
- 平成6年度定期総会案内……………10
- トレーニングセンター関係……………11
- 北窓会から……………11
- 企業広告……………12
- 全国インターハイアイスホッケー競技
郡山北工対北富士工（山梨）戦
H 6. 1. 18（火）郡山市宮開成山球場特設
リンクにおいて

定期総会 トレーニングセンター落成祝賀会

5/29(土)
開催

先崎一郎氏ら現役員を再任



平成5年度の定期総会は平成5年5月29日(土)午後5時から郡山ビューホテルで開催され、来賓を含めた約300名が出席した。

冒頭挨拶に立った先崎会長は、今回のトレーニングセンターの建設に関して、皆様方からいただいたご支援、ご協力に深い感謝の意を表した。

「特に、不況のまっただ中、時期が悪すぎるとの話もあったが、役員の方、皆様のご協力、北窓会、企業内支部、東京支部、日立支部、水戸支部、PTA、学校職員、会員の皆様、たくさんの方から暖かいご支援をいただいで、募金活動を通じてわずか1年弱という短い期間で、当初の目標を何とかクリア出来るところまでまいりました。」という報告と御礼を述べた。

また、今後の組織活動の方針にふれ「同窓会をより一層活発化するためには運営基盤の強化につけると述べ、企業内支部をより充実させて組織の拡大をはかりたい。」と抱負を述べた。

つづく議事は、庶務報告、平成4年度決算、監査報告、平

成5年度予算、事業計画などを原案どおり承認可決した。

このあと、役員改選があり先崎一郎会長ら現役員を再任と、また、今年度新しく相談役として植田英一氏(県議)、渡辺憲一郎氏(市議)の就任が満場一致で承認し総会を終えた。

第二部の懇親会を兼ねたトレーニングセンター落成祝賀会では、設計を担当した、佐藤実建築設計事務所と工事を請け負った(株)清水工業に感謝状と記念品を贈り功績をたたえた。

また、学校から同窓会へ、堀金校長より先崎会長へ感謝状が贈られ、トレーニングセンター建設にあたり多大な尽力と立派な施設を完成させたことにたいし感謝の意を表した。

つづいて、昨年に引き続き来賓を代表して郡山商工会議所副会頭(株)ヨークベニマル社長高善兵衛氏より、心温まる講演をいただき本校同窓生を激励した。また、宗像俊郎PTA会長の挨拶があり、植田英一氏の発声で乾杯した。

募金をお寄せいただいた来賓企業の方々、旧職員や恩師を囲んでの祝宴はなごり尽きないまま盛会のうちに閉会した。

再任された役員は下記の通り

会 長	先 崎 一 郎	3 1 機械卒
副会長	今 泉 善 治	2 6 機械卒
〃	佐久間 秀 夫	4 1 機械卒
〃	増 子 久 治	4 2 電気卒
監 事	加 藤 和 大	2 6 機械卒
〃	滝 田 孝 太 郎	4 2 電気卒
〃	遠 藤 勉	5 3 化工卒

企業内支部連絡協議会

6月に企業紹介誌発刊へ

平成3年4月に同窓生の多い企業内に設立された企業内支部の第3回連絡協議会は、平成5年7月21日午後6時よりホテルはまつに於いて行われ、企業側の代表と、企業内支部長、副支部長ら64名に加えて、学校側からは、堀金学校長、教頭、事務長、各科長、3学年担任、進路指導など17名に同窓会三役、北窓会役員、総勢100名が出席した。

はじめに、先崎同窓会会長より、トレーニングセンターの募金の協力に対し御礼の言葉が述べられ、また次のような抱負が語られた。

「10年後は新卒者が激減することで、企業側としては大変深刻な事態であり、同窓会としては新しい活動方針として学校と企業側とのより密接で、かつ友好的な場を設定し、両者の仲介役としてお役に立つことが使命であると重大に受けとめている。」また、運営面についてもふれ、「企業内支部に加入されている企業を対象に、企業紹介誌の発刊、連絡協議会の開催、さらに、母校への支援等々のために今後は、年会費を徴収したい」旨の協力のお願いがあった。

引き続き、堀金学校長より学校の現況についての報告があり、進路指導部からは、平成4年度の生徒の進路状況と、平成5年度の進路希望状況について具体的な話があり、企業側は熱心に聞き入った。

なお、企業内支部紹介誌については、平成5年12月6日に支部長会を開き、平成6年6月に発刊することを決めた。この紹介誌は、学校の先生方や生徒たちに配布し、活用してもらうことになっている。

同窓会定期総会開催のお知らせ

平成6年度定期総会を下記のように開催いたします。
多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

— 記 —

- 1.日時 6月4日(土)
午後5時より定期総会
 ◇ 5時半よりアトラクション
 ◇ 6時より懇親会
- 2.場所 ホテルはまつ(3階左近の間)
TEL (0249) 35-1111
- 3.会費 5,000円
(平成5年度卒業生は 3,000円)

※詳細については同窓会事務局
(郡山北工内)までご連絡下さい。
TEL (0249) 32-1199 事務局 佐々木



忘れません、思いやり!

学力向上と 競技力向上をめざして

学校長 堀金敏幸



同窓会の皆様には、各方面でのご活躍、心よりお喜び申し上げます。

皆様には、日頃より学校に対しまして物心両面にわたるご支援をいただきまして、厚く御礼申し上げます。

特に今年度完成しましたトレーニングセンター建設につきまして、同窓会および北窓会の会長様をはじめ会員の皆様に格別のご協力をいただき、重ねて御礼申し上げます。

また、史上まれにみる不況の中、同窓会企業内支部ならびに北窓会の企業の皆様には、多くの卒業生を採用していただきまして、感謝にたえません。

現在、学校では、学力向上と競技力向上を目指して努力中であります。

お陰様で着々と成果があらがりつつあります。各種の資格取得者の増加、大学進学合格率の上昇、ソフトボール部の全国高校選抜大会出場、バドミントン部の県大会初優勝をはじめ各部の競技力向上など、文武にわたり学校全体が上昇ムードにあります。

更に、全職員力を合わせて同窓会の皆様の期待に添える学校づくりに励む所存であります。

さて、卒業生の皆さん、卒業おめでとう。

皆さんは、卒業と同時に同窓会にあたたかく迎えられ、北工同窓会の一員になります。

先輩諸兄は、国内外の各方面で大いに活躍されております。卒業生の皆さんも、先輩の方々に負けないように努力してください。

これからが、本当の皆さんの人生の始まりです。自分の人生は自分で作るものです。

世はまさに不況の時代です。

このような時にもっとも必要なことは、忍耐であります。先日、全国高体連スケート部会長を案内して野口英世博士

記念館を見学してきました。館内のあちこちに博士の座右の銘である「忍耐」の言葉が掲示してありました。現代に生きる我々にとっては、忘れかけている言葉ではありますが、いかに時代が変わっても、社会人として生きるためには、忍耐は絶対必要であることを改めて感じてきました。近頃の若い者はがまん強さがなくなつたとよく聞きます。その一つの現われとして、高校卒業後就職して三年以内の離職率が約四五パーセントに達しているのが事実です。昔から石の上にも三年という言葉があります。自分の仕事に誇りと自信を持つて自ら意欲的に取り組んでください。多少のことは耐えることとは多くあります。忍耐なくして幸せな人生はないと言っても過言ではないでしょう。どうか、皆さんは、このことを忘れないで、たくましく生きてください。

終わりに、同窓会の今後益々のご発展をお祈りします。



支部のうごき

日立支部だより

日立支部では恒例行事である支部総会を新緑の風薫る、平成5年6月11日(金)に実施した。本総会には学校側から堀金校長、同窓会本部から今泉副会長、佐々木事務局長、さらには水戸支部から池辺、柳沼両理事をお招きし、くわえ平成5年に日立支部の新会員となられた5名の新入会員の歓迎会を兼ねて盛大に行なった。

本総会には多数の会員が参加し、第一部「総会」第二部「懇親会」で構成し「総会」では日立支部の一年間の経過報告、一部の規約改定等を行なった。ひきつづき「懇親会」に入り来賓の方々より温かいご祝辞を戴いた後、七海副支部長の乾杯で宴会に入った。また全国で部門優秀賞に輝いた母校在校生の「人文字コンテスト」のビデオも観賞し、生徒達の一糸乱れぬ演技に感嘆し「さすがは郡山北工生」の声があがった。宴もたけなわとなり母校や故郷の近況報告に話ははずみ、最後に校



歌を斉唱し盛会の内に散会した。

さらに恒例となっている新入会員との懇親会を平成5年11月19日、激励と懇親を兼ねた支部役員との交流会を持った。会では日立の組織の一員として立派に活躍していること等の報告があり、先輩としてののほほやかなり同窓生としての繋がりをなお一層強くした。

又、本年度は母校と支部の数多くの交流をもった。学校側からの日立への訪問では、平成5年9月6日「父母と教師の会」の研修活動の一環とし31名のPTA役員の方々に、日立市内が一望できる小平記念館をはじめとし(株)日立製作所日立工場を見学戴いた。母校への訪問では平成5年5月29日職業教育の一環とし日立支部より真壁さんを講師として派遣依頼を受け企業の考え方等の講演を実施した。今春の卒業生から日立支部関係工場に6名の就職者が内定しており、さらには平成7年に磐城自動車道の開通と相俟ってこれからも交流を盛んにし同窓会本部及び学校側との繋がりをより密にしたい。

仙台支部設立に

うごき

同窓会として永年の懸案であった仙台支部の設立に向けて設立準備委員会(仮称)が関根清文氏を準備委員長として在仙の同窓生100余名の代表6名(1名欠席)が出席し、昨年10月6

日仙台市において設立についての話し合いがなされた。会合には先崎同窓会長、佐々木事務局長が出向き、はじめに会長より同窓会活動状況報告と支部の設立によって同窓の絆をより強く深く深い合うことができることを希っている旨の協力要請があり、代表者からも限らない青春時代を培ってくれた母校への熱い想いと、工業界の中核として活躍している現況報告があり、設立に向けての第一歩が歩み出したことを心強くうれしく受けとめ帰郡した。

仙台支部設立準備委員会

	氏名	会社名	卒年
委員長	関根 清文	(株) 山下設計東北支社	S31建卒
委員	鈴木 一正	鹿島建設(株) 仙台支店	S31建卒
委員	大越 嘉一	(株) 竹中工務店 東北支店	S36機卒
委員	上遠野 登美男	安藤建設(株)	S38建卒
委員	佐藤 正徳	(株) 浅沼組	S38建卒
委員	三阪 益実	東急建設(株)	S41建卒
委員	遠藤 隆夫	スケープデザイン(株)	S46建卒

東京支部だより

平成五年六月十九日(土) 午後四時から東京・上野の『上野精養軒』において、学校から堀金敏幸学校長、同窓会本部から先崎一郎会長、佐々木郁雄事務局長、水戸支部より、山崎功支部

長、橋本正義理事の来賓を迎え、会員六十五名の参加により盛大に総会が開催された。総会の開催にあたり、小野寺支部長の挨拶に始まり、来賓、本部を代表して先崎会長の挨拶、堀金学校長の学校の現況報告と挨拶があり、次いで佐々木事務局長からは、本部の近況や活動状況等の報告が行われた。引き続き、総会に入り、議事が進められ、支部の活動報告、会計報告、会計監査報告があり、種々の検討、審議が行われ、原案どおり承認された。次に役員改選の議事に入り意見交換がなされ、審議の結果、提出原案どおり満場一致で承認可決された。その他、支部活動に対する活発な意見や提言などあり今後の支部活動展開に反映させることとした。また、会員の今後、さらなる支援、協力をお願いした。これまでにない活況を呈した総会となった。

総会終了後、懇親会が行われお互い旧交を温め、さらに懇親を深め会は宴たけなわとなった。また再会を誓い散会した。



展望

『同窓会の新しい方向性について』

.....

元本校教員 近藤

功

同窓会の在り方を見つめる会員の視座が、大きく変化したように思われる。殊に、ここ2,3年で、このように急速に変わったのは、それだけ同窓会の存在としての軸が、しっかりした証拠であろう。会員主体となるべきを、展望できるようになったことは、ご同慶のいたりである。今後もより一層、同窓の絆を強く深める努力を続けて欲しいものである。

同窓会の目的は言うまでもなく、会員の親睦と互助、母校への支援活動にある。また、会員が共に青春の一ページの思い出と、温かい心の触れ合いと、安らぎを得ることができ、それらが新たな可能性を秘めた21世紀へと黎明の時を刻むことにある。しかし、今後の同窓会の在り方をどのようにするかについては、もっと工夫の余地があると思われる。それは、同窓会の方向性を、もっと具体的に打ち出さなければ、流れは時として、抗し切れなくなるものである。新しい若いエネルギーを、新しい動きに繋ぐことである。若者(会員)にとって、同窓会とは何であるのか、分かっているようで分かっていない(分かつとうしない?)のが、実状ではあるまいか。同窓会としても、やるべき課題は山積しているだろうが、いま、ここで同窓会が、今後は何をどうすべきか、どうあるべきかの本質を真剣に見つめることで、様態がしっかりして緒が見つかるはずである。

さて、その一環として、刮目にあたいる「北工同窓会企業内支部」の設立は、これを一つのまとまり(単位)として発足をみたことは、非常に意義のあることで、心強いことである。しかし、ごく自然に受けとめてくれたわけではなく、紆余曲折を経ての結果であったが、これも地域の企業各位が、北工への大きな信頼と期待、ご理解であり、また、多くの先輩各位の賜物である。決して羊頭狗肉であってはならない。産業構造の変化は大きく転換し、長期にわたる不況による就業構造の変化、技術革新の進展と、めまぐるしく推移している昨今、これらに充分対応できるよう地域企業の動向を察知し、より密着して卒業生がより多く地元企業に就職できる受け皿づくりに、より計画的に助勢する力を蓄えておくことで、同窓会企業内支部としての基体が、しっかりするものである。

このような観点から同窓会としても、企業内支部

と学校関係との連携強化につとめ、現実を直視し、適正に把握しながら、より一層、地域の企業との関わりを保ち、産学協同を持つことではなからうか。同窓会が、学校と企業と、企業内支部会員との相互のバックアップにより、有機的に結合したことは、組織体として、本当に素晴らしいことである。まだ、未加入の企業各位も、漸次理解してくれることであろう。

これらの企業内支部が、単位ごとに結束され、その方向性が確立されると、これが同窓会活動の活性化に、一人ひとりの端末機器を通して、フィードバックされ状況が把握でき、具体的な活動が、集合的意志決定の過程における総体として不可欠なことであり、同窓会活動の目的に合致することにもなる。

いま、同窓会活動の舵取りをしている先崎会長以下、役員(支部長も)、事務局各位は、労多く並大抵なことではなからうか。いつも凱風の日ばかりではない。それでも、常に同窓会の発展を希い、命題として、あらゆる諸条件の見直し、社会的意識、人間関係、即時の状況判断と、活力あるものにするための構築を、どう図るべきかと苦慮しなければならない。言うなれば、これまでの実績のみに、あぐらをかいては、クラストみたいで、先行きの見通しはつかなくなる。もっと厳しく現実的に、同窓会の将来をしっかりと見据えることで、これらをどう集束させるべきかと言う認識をもつことが肝要である。

会長と事務局長は演出家でもあるが、しょせん裏方でもある。役員各位も、勿論同様である。ドラマの展開は、小うるさい個人の好みも合わせて、満足させなければならない。また、このドラマには筋書きはない。いろいろな発見と出会いが、その時その場に発生し展開されるので、見極めることは難しいものである。ますます多様化していく会員が多くなるなかで、同窓会の活路をどう見出ししていくのか真の力量が試されると思うが、ここは気張らず、肩肘張ることなく、もっと多角的な視野で同窓生が熱い母校愛に燃えるような諸相を創り出すことである。人間は、どうしても未知の彼方に、夢と希望をいつもえがくものである。

どうやら北工同窓会の方向性が見えてきたようである。

ビュープラザ店(婦人服・ハンドバック) 郡山市中町3-1ビュープラザ1階 ☎24-1144
希望ヶ丘店(袋物・靴・アクセサリー) 郡山市富田町大徳南アーデン内 ☎52-0511



事務所 郡山市中町3-1 ☎0249-32-2140

今泉善治(昭和26年度機械科卒)
今泉善英(昭和31年度建築科卒)

各種自動車钣金・塗装・整備・販売・
大東京火災海上保険代理店

丸石自動車工業

代表 石井光弥(昭和46年度機械科卒)

郡山市田村町金屋字新屋92番地
(工場) TEL (0249) 43-1070
(自宅) TEL (0243) 44-3830

生徒会 だより

生徒会活動に ついて

生徒会顧問 二瓶益幸

今年度の生徒会活動状況について、記録を
辿りながら総括してみたいと思います。

四月、四百名の新入生を迎え、今年度がス
タートしました。対面式、部紹介、部編成等
を通して、少しずつ郡山北工生としての自覚
が出て来た様子でした。五・六月の高校総体
予選では、参加部が全て県大会に駒を進め、
さらに、ソフトボール部と陸上部が全国大会
出場を果たしました。

七月、校内体育大会が三日間行なわれ、雨
にもめげず、各種目白熱した好プレーが続出
し、クラスの団結と親睦が図られました。
甲子園を目指した、夏の高校野球県大会では、
準優勝した東白農商に三回戦で惜敗しまし
た。来年こそは、是非二回目の甲子園を実現
して欲しいものです。



九月、役員選挙で、新会長の菅野佳輝君
(建二)以下、十四名の新役員が選出されま
した。新役員の今後の活躍を期待します。十
月、ソフトボール部が昨年に続き、春の全国
大会出場権を得、また、機械部のソーラーカ
ーの産業教育フェア全国大会出場や、吹奏楽
部のマーチング東北大会出場など、活躍が目
立ち、その他の部も新人戦等で好成績を修め、
上位大会出場を果たしました。十一月、校内
ミニ文化祭が二日間開催され、学芸コンク
ール、各部展示、綱引大会など、どの催しも盛
況で、二年後の北嶺祭への大きなステップに
なったと思われまます。

一月、高校総体スケート競技の全国大会が
地元の郡山市で開かれ、本校からは、アイス
ホッケーとスピードスケートに出場しまし
た。アイスホッケーでは、全校生が応援に駆
け付け、厳寒の中、精一杯応援しました。選
手諸君も、全国の強豪相手に善戦してくれま
した。
今年度も残りわずかですが、北工生より
一層の飛躍を祈念したいと思います。

定時制生徒会について

生徒会顧問 佐藤 恭

同窓会の皆様には、日頃よりご協力頂き誠にあり
がとうございます。

定時制の在校生徒も年々減少し、平成5年度は60
名弱の生徒が元気に通学しています。

さて、部活動ですが、過去の輝かしい全国大会出
場の記録を塗り替えるべく各部とも、授業終了後の
短い練習時間を有効に練習し、本年度もソフトテ
ニス部と柔道部が全国大会に出場し、全国に郡山北工
高の名を轟かせる事ができました。残念ながら軟式
野球部とバレーボール部は県大会で惜敗し、全国大
会には手が届きませんでした。

校内行事として、春と秋の球技大会(ソフトボ
ール、ボウリング大会)では、いきいきとプレーしま
した。校内生活体験発表会から2名が県南、1名が
県大会で優秀賞を受賞しました。また、報道委員
会の協力で、4年間の学校生活の思い出や記録を載
せた機関誌「よぞら」(第217号)が発刊されました。

今後ご指導の程お願い致します。



弱電部品製造・精密金型製造、販売

株式会社 ザイン

代表取締役 鈴木 廣 哉 (昭和40年度機械科卒)

〒963 福島県郡山市富久山町福原字宝田46番1
TEL (0249) 34-0699
FAX (0249) 22-7403

部活動の活躍

ソフトボール部全国大会出場

バドミントン部

本年度の県高校新人大会で念願の学校対抗戦優勝を成し、初の優勝杯を持ち帰る事ができました。この結果、白河市で行なわれた東北大会へ出場し、2回戦を突破、ベスト8へ進出しました。その他の結果としては、県高校体育大会で学校対抗3位、県総合体育大会ダブルス3位(重川・磯貝組)シングルス3位(武内)という成績を残しました。

今後とも、諸先輩のご支援、ご指導のほどよろしくお願い致します。

バドミントン部顧問 平田 利文

バレーボール部

今年のチームは、平成4年度は県南選手権大会、新人戦予選、県総体等、県南の大会ではすべて優勝することができ、県新人大会でも準優勝することができました。

春の県高校大会でも、前年度の実績を自信に上位入賞を目指しましたが、惜しくも準々決勝で会津工業に負け、ベスト8どまりでした。新チームになってからは、やや力不足のため、県南選手権二位、新人戦予選3位、県新人戦ベスト8、最後の大会である県総体予選で、ようやく優勝し、1月28日から実施された県総体で3位入賞。また、2月5日のFTV杯においても3位入賞を果たしました。今後とも上位を目指して頑張らせたいと思いますのでご支援とご協力をお願いいたします。

バレーボール部顧問 安斉 博

ソフトボール部

春の全国選抜大会に、ベスト16、夏の全国高校総体では、3回戦まで進出することができました。また、秋から新チームになり、県新人大会で準優勝、南東北大会に出場し、2年連続6回目の全国選抜大会出場権を獲得しました。お蔭様で、大変充実したシーズンをおくることができました。

現在、全国選抜大会初戦突破を目標に、頑張っております。今後とも、ご支援、ご指導のほどよろしくお願い致します。

ソフトボール部顧問 新井 一郎



吹奏楽部

本校吹奏楽部は、吹奏楽の演奏とマーチングの両立を目指している、県内でも数少ない学校です。本年度の活動状況についてご報告したいと思います。

部員数は昨年度と同程度でしたが、3年生が少なく、1年生が半数を越えたために、演奏を含む活動面での危機感を持ちながらの活動でしたが、かえってまとまりができ、充実した活動ができました。大会等の成績も昨年度よりも上位入賞することができました。成績は次のとおりです。

- 1、吹奏楽コンクール
・・・今年度は県大会に出場し、銀賞受賞
- 2、マーチング・フェスティバル
・・・東北大会出場
- 3、アンサンブル・コンテスト
・・・5チーム出場し、2チーム金賞、3チーム銀賞
その他、各種行事に出演したり、定期演奏会の開催など、例年同様忙しい一年でした。今後ともよろしくご支援のほど、よろしくお願いいたします。

吹奏楽部顧問 本橋 義彰

野球部

ここ数年、4回戦の壁を破れずに、歯がゆい思いをしております。初戦は毎回、強敵との対戦にもかかわらず、勝ちを収めるも、その後の余力がありません。

高校野球も、他の競技に押され、また、高校生の体質の変化から、過渡期にあるようです。高校野球のあるべき姿を追いつつ、数年後の復活を目指し、一からやり直すつもりで頑張っていきたいと思っております。

野球部顧問 佐藤 譲敬

スケート愛好会

新入部員2名を加え「ふくしま国体」強化指定校として活動してきました。結果としまして本校生徒の躍進が目覚ましく高校総体で学校対抗2位、個人では県高校記録で優勝するなどの実績を残した。インターハイ、上州国体にも2名参加し、惜しくも決勝進出を逃した。だが、本人達は「ふくしま国体」に向けて良い勉強になったと思います。

ここまで愛好会でありながら活動させて頂けるのはみなさんのお陰だと感謝しております。今後共、みなさんの協力を頂きながら期待に添えられる様方していきますのでよろしくお願い致します。

スケート愛好会(スピード部)顧問
菊池 由喜男

平成5年度 進路内定状況 6.1.31 現在 () は女子内数

科	機械	電気	電子	情報	建築	化工	合計
在籍数	115	75	34(1)	37(11)	40(4)	64(25)	365(41)
就職内定数	50	40	11(1)	8(3)	13(3)	30(15)	153(22)
職内公務員	21	15	6	18(7)	15	15(3)	90(10)
自営/無職	8	0	2	1	0	2	13
計	82	55	20(1)	27(10)	30(3)	51(20)	266(34)
進学希望者	4	1	1	2	3	1(1)	12(1)
短大	2	0	0	0	0	0	2
専門	19	12	3	6	6	3(1)	49(1)
計	25	13	4	8	9	4(2)	63(2)
未定その他	3	4	5	0	1(1)	5(1)	18(2)
進学希望者	5	3	5	2(1)	0	4(2)	19(3)
合計	115	75	34(1)	37(11)	40(4)	64(25)	365(41)

2. 進学希望者内訳 () は女子内数

専攻	機械	電気	電子	情報	建築	化工	小計	合計
大理工系	5	0	4	1	0	0	10	12(2)
短理工系	0	0	0	1(1)	0	1(1)	2(2)	
大文科系	0	0	0	0	0	1	1	1
専門・各種校	0	3	1	0	0	2(1)	6(1)	6(1)
私立高等技術専門学校	0	0	0	0	0	0	0	
計	5	3	5	2(2)	0	4(2)	19(3)	19(3)

年度別進路状況 6.1.31現在

年度	進学者数(大学)	就職者数	県内就職者数		県外就職者数
			年度	年度	
S57	10	364	139	92	133
58	14	335	134	97	104
59	15	333	137	81	115
60	13	361	122	118	121
61	15	333	105	103	125
62	12	343	112	107	124
63	16	344	138	98	108
H1	14	352	168	76	108
2	14	323	152	61	110
3	17	325	149	49	127
4	14	313	146	85	82
5	12	256	133	46	97
6					

今年の進路状況

進路指導部長 高久田稔

世界的な経済不況が続く中で始まった進路指導でしたが、県内外の企業への就職は同窓生の方々の協力により、かなりスムーズに内定しました。それでも求人数が軒並み減少したため、当初の希望が叶えられず、二度、三度と受験を重ねた生徒の数は前年度を上回りました。今年の三年生は全体数で例年よりも40名近く少ない学年で、特に女子の数は最も少ないのですが、今年は女子に対する二次募集は皆無に近く、男子に比べると進路先の選定には苦勞を強いられました。

公務員では自衛官の採用に大きな変化が見られた年でした。自衛隊定数法の改正と退職者の減少により新規採用数が押さえられましたので、例年になく高い倍率となりました。本校からは初めて12名の二桁の合格者を出しましたが、来年度も本年以上に厳しい採用状況となる見通しです。

進学では大学はほぼ例年並、専門学校がやや増加の傾向にありますが最近では高校での専門科目を更に勉強する為に専門学校を選ぶようになって来ているようです。

平成4年度基本金報告書

1 収入の部

項目	金額	備考
繰越金	8,603,037円	
本年度基本金	497,400円	829人×3,000×0.2
雑収入	597,034円	銀行利息
合計	9,697,471円	

2 支出の部 5,000,000円
(トレーニングセンター建設取り崩し)

3 残高 4,697,471円
・中国ファンド 4,655,636円
・定期預金 41,835円

平成4年度新会員報告書

全日制	
科	人数
機械科	123名
電気科	80名
電子科	40名
情報技術科	41名
建築科	42名
科学工学科	83名
小計	409名
定時制	
科	人数
工業科	10名
小計	10名
合計	419名

平成4年度決算報告

1 収入の部

項目	予算額	決算額	増△減	備考
繰越金	196,253	196,253	0	
会費	1,257,000	1,257,000	0	(407+12)名×3000円
入会金	1,230,000	1,233,000	3,000	(401+12)名×3000円
会誌広告料	220,000	160,000	△60,000	広告掲載料(8社)
北窓会助成金	300,000	800,000	500,000	北窓会からの助成金
雑収入	594,747	26,127	△568,620	
合計	3,798,000	3,678,380	△119,620	名簿売上、利息

2. 支出の部

項目	4年度予算額	決算額	増△減	備考
基本金	497,400	497,400	0	829名×3000円×0.2
特別基本金	0	0	0	
会議費	300,000	282,759	△17,241	三役会、幹事会など
事務費	50,000	13,346	△36,654	職員録、事務用品
慶弔費	400,000	346,400	△53,600	餞別、賞品、香典など
通信費	600,000	592,375	△7,625	会報送料、葉書、切手
旅費	250,000	231,740	△18,260	日立・水戸・東京支部
会誌編集費	550,000	700,940	150,940	会報印刷、折込謝礼等
渉外費	150,000	180,262	30,262	関係機関との渉外諸費
卒業生諸費	400,000	317,344	△82,656	卒業記念品、名簿印刷
事務局費	160,000	160,000	0	事務局手当
工業祭	100,000	100,000	0	北嶺祭
支部助成金	150,000	0	△150,000	
学校案内助成費	100,000	99,866	△134	学校案内印刷
予備費	90,600	32,690	△57,910	記念品等
合計	3,798,000	3,555,122	△242,878	

差引残高 123,258円は次年度へ繰り越します。



我が電子画像処理に不可能はない。

印刷機材総合販売・電子画像処理・シルクスクリーン

株式会社ヨシダコーポレーション

〒963-07 郡山市田村町上行合字北川田22-1
☎0249(42)0005 FAX0249(42)2233

トレーニングセンター 7月より使用開始 募金活動終わる

トレーニングセンターが平成5年5月に完成し、7月より部活動を中心に、使用を開始しました。センター内には、コンビネーションマシンやベンチプレス、パワーマックスなどが設置され生徒たちの筋力アップに大いに役立つものと思われます。

なお、皆様からお寄せいただきました募金の報告については、平成5年6月7日現在で各自に芳名簿でご報告いたしました。その後の募金をいただいた方々は次の通りです。誠にありがとうございました。

追加報告（順不同、敬称略）

郡山市より建設補助金として 二百万円
(株)ワタナベスポーツより 百万円

同窓生 一万円

山崎 巧 柳沼 健治

同窓生 五千円

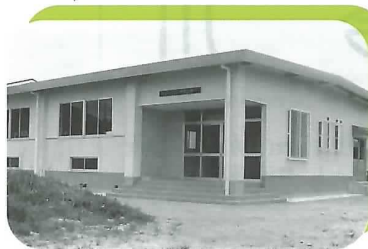
土手内隆次 宗像 清 加藤 英明

柳沼 昭英 横山 政行 辺見 信二

水野 智 橋本 洋治 熊田 隆雄

岡部 典利 安田 真 山崎 透

佐藤 茂



平成4年10月より開始いたしましたトレーニングセンターの募金活動を平成5年9月31日をもって終了いたしました。PTA、

同窓生の方々、本校及び本校卒業生とゆかりの深い事業所、旧職員並びに現職員、その他大勢の方々から過分なご協賛を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。募金決算報告は平成6年6月4日に開催される定期総会で、また次号同窓会報に掲載いたします。



北窓会から

◆北窓会会長に大塚正博氏を

母校および同窓会の組織活動における支援団体である北窓会の平成6年度の定例総会が去る1月28日午後5時半より郡山ビューホテルアネックスで開かれた。

総会では清水善一会長を議長に選び、諸議案を審議し承認された。引続き役員改選が行われ新会長に大塚正博氏、副会長に今川直彦氏、石橋邦勝氏が満場一致で選ばれた。前会長清水善一氏より「産業構造不況が長く現状において会員企業は前向きにとりくんではほしい」と挨拶があり、母校より来賓として学校長、教頭、同

窓会事務局長が出席した。特別講演として先崎一郎氏が「戦後最悪の不況をどう乗り切るか」と題して、企業再生は単なるリストラだけではなく、明確なビジョンと、やる気をひき出すリーダーシップが重要であると実例で分析、問題を提起し会員とディスカッションをしての講演があった。そして大塚新会長より、卒業生に対してメッセージが寄せられた。◆「卒業おめでとう。過去四十数年の歴史で、最長の不況と言われている昨今の厳しい社会へ巣立つ諸君に、一人の先輩として以下のごことを申し上げたいと思います。

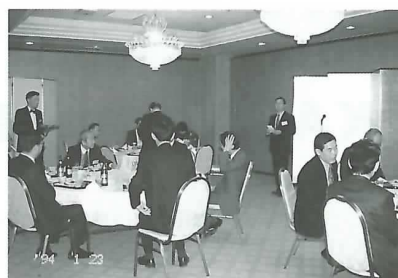
米国の詩人S・ウルマンは『青春とは人生のある期間を言うのではなく、心の様相を言うのだ。優れた創造力・逞しき意志・燃える情熱・怯懦をのける勇猛心・安易を振り捨てる冒険心。こう言う様相を青春というのだ。年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いが来る。人は信念と共に若く、疑惑と共に老いる。人は自信と共に若く、恐怖と共に老いる。希望ある限り若く、失望と共に老い朽ちる。』と、言っています。

諸君の人生は、一人一人異なったものでありますから、自分の人生は、自分で決めるしかありません。昔から『世間の荒波』と言われていますが、その荒波に漕ぎ出す諸君のコンパスは、諸君の目指す所をしっかりと指し示していますか。もし、コンパスを持っていないか、故障しているようだったら、主体性を持って、再構築を急いでください。

そして、諸君の人生が、ウルマンの言う『青春』に彩られていくことを、切に祈ります。』

北窓会会員

社名	氏名
1 東陽工業(株)	大塚 正博 (30機)
2 (株)キョウエイ	猪越 幹雄 (30機)
3 (株)清水工業	清水 善一 (31建)
4 (株)東北エンタープライズ	先崎 一郎 (31機)
5 石橋工業(株)	石橋 邦勝 (33機)
6 (株)今川	今川 直彦 (34機)
7 (株)伊藤商店機材部	伊藤 シク子 (夫人)
8 山田設備工業(株)	山田 義頭 (35機)
9 (株)ピクセル	橋本 保一 (35機)
10 春日設備工業(株)	春日 力 (40建)
11 (株)ザイン	鈴木 廣哉 (40機)
12 (株)宮川ハイテクマシーナリー	宮川 正年 (41機)
13 田村通信防災工業(株)	増子 久治 (42電)



建設資材総合メーカー

kyo 株式会社キョウエイ

代表取締役社長 猪越 幹雄 (昭和30年度機械科卒)

本社 / 〒962-04 福島県須賀川市大字清川字中津沢46-1 TEL 0248-75-0215(代) FAX 0248-75-1789
札幌営業所 / 〒065 北海道札幌市東区伏古2条5丁目1-18 TEL 011-786-8811(代) FAX 011-786-8812
仙台営業所 / 〒983 宮城県仙台市宮城野区雁町三丁目10-1 TEL 022-239-2171(代) FAX 022-239-2174
千葉営業所 / 〒263 千葉県千葉市稲毛区小深町47 TEL 043-422-1906(代) FAX 043-422-6639
●工場 / 苫小牧・郡山・須賀川・鏡石・千葉・群馬 ●配送センター / 須賀川・関東

●カーコンサルタント

株式会社 今川

代表取締役 今川 直彦 (昭和34年度機械科卒)

本社 〒963-01 郡山市安積町荒井東前田37-3 ☎(0249)45-1623(代)
車検センター 郡山市安積二丁目184-1 ☎(0249)45-8300
成田工場 郡山市安積町成田字高田47 ☎(0249)45-2478

営業品目

火災報知設備・構内交換電話設備・消火設備・
防火排煙設備・非常用放送設備・テレビ共聴設備
消火器・防犯設備・以上に附帯する一切の業務

田村通信防災工業株式会社

代表取締役 増予 久治 (昭和42年度電気科卒)

郡山市安積町荒井字下北井前4-1
☎(0249)45-2882(代) FAX(0249)46-2875

株式会社 清水工業

取締役社長 清水 善一 (昭和31年度建築科卒)
一級建築士第46405

〒963 福島県郡山市西ノ内一丁目11番7号
☎(0249)32-4318(代)
FAX(0249)33-2196

県建設業登録許可番号(特-5)第3537号
須賀川市水道工事公認店

給排水・給湯・衛生・冷暖房・空調調和設備工事

IS 春日設備工業株式会社

代表取締役 春日 力 (昭和40年度建築科)

福島県須賀川市堀底町18
☎(0248)76-2131(代)
☎(0248)76-2132

技術とアイデアで対応致します!!
◀ラインの自動化・工程の自動化に御相談下さい▶
【営業品目】
■メカトロニクス製品 } 設計製作
■電子回路システム }
■自動制御盤 }
【製作実績製品】
●農業用ロボット・オートローダー・
アンローダー(NC機とドッキング)
●インデックステーブルによる自動組立機
●XYテーブルによる組立機
●フリーフローラインによる自動化システム
他、ユーザーのニーズに対応致します!!

株式会社 宮川ハイテクマシーナリー

代表取締役 宮川正年(昭和41年度機械科卒) 制御部長 宮川 正(昭和46年度電気科卒)
本社 郡山市虎丸町9-15 ☎0249-32-2159 ☎0249-33-7623
工場 郡山市富久山町久保田字大久保68-2 ☎0249-22-8470(代)☎0249-34-4336
制御部 郡山市喜久田町字葛蒲池1-1 ☎0249-59-3970(代)☎0249-59-3836

精密金型設計製作・金属プレス精密加工・静電塗装・植毛・シルク印刷
部品組立・木工製品製造・パーツから組立完成までの一貫加工メーカー

AT 石橋工業株式会社

代表取締役会長 石橋 隆純
代表取締役社長 石橋 邦勝 (昭和33年度機械科卒)
取締役管理総括部長 桑名 武義 (昭和35年度機械科卒)

郡山市安積町成田字三渡1 TEL (0249) 45-3411 FAX (0249) 45-0176
関連事業 アクト技術 N Cワイヤー、レーザー加工 TEL (0249) 47-3690
よもぎ堂 離れ 石橋亭、松籟亭、四季亭 TEL (0249) 84-2671

鋼構造物製作

福島県知事許可(般-2)第2528号
全国鉄構工業連合会・鋼構造物製作工場認定第02.M.6018号

STEEL WORK PLANNING BIXCEL 株式会社ビクセル

代表取締役 橋本 保一 (昭和35年度機械科卒)

本社工場 / 福島県郡山市田村町上行合字下川原97番地
電話0249(44)3213(代表) FAX 0249(44)3218

〈確かな技術が未来を築く〉

火力発電プラント・各種プラント設計製作

東陽工業株式会社

取締役社長 大塚 正博 (昭和30年度機械科卒)
取締役 落合 弘 (昭和32年度機械科卒)
〒969-11 福島県本宮町青田字花掛20番地
☎(0243)34-2730(代)
☎(0243)33-3790

TEP

株式会社 東北エンタープライズ

取締役社長 先崎 一郎 (昭和31年度機械科卒)

本社 ●福島県郡山市開成4-8-15 〒963 TEL 0249-33-2555(代) FAX 0249-23-2555
仙台支社 ●仙台市青葉区立町20-10(ピースビル西公園4F) 〒980 TEL 022-265-6382(代) FAX 022-265-6395
■空調調和設備、給排水衛生設備の設計・施工および保守管理

1級建築士事務所

KAGA 株式会社 香 設計

代表取締役 今泉 義明 (昭和36年度建築科卒)

〒963 福島県郡山市富久山町久保田字久保田100番地1
TEL 0249-24-0005(代)
FAX 0249-23-5487

建築設計監理

MUA

有限溝井宇一建築事務所

代表取締役 溝井 宇一 (昭和41年度建築科卒)

福島県郡山市安積2-69 安積ビル301
TEL (0249) 46-3575
FAX (0249) 46-6956